

平成28年第1回定例会（2月議会）  
建設部 提出資料（2月19日提出）

建設委員会

【補正予算関係】

○ 建設部	平成27年度2月補正予算案の概要について . . . . .	1
○ 下水道課	流域下水道維持管理における指定管理料に係る 債務負担行為の設定について . . . . .	2
○ 河川砂防課	災害関連事業（齊内川）について . . . . .	3
○ 港湾空港課	空港維持管理費（除雪費）について . . . . .	4
○ 建築住宅課	あきた安全安心住まい推進事業（住宅リフォーム推進）に係る 債務負担行為の設定について . . . . .	5

# 平成27年度2月補正予算案の概要について

平成28年2月19日  
建設部

## 1 一般会計

- (1) 補正予算  $\Delta 4,263,131$  千円  
 ①国庫支出金の内示や事業費の確定  $\Delta 4,241,539$  千円  
 ②その他（給与費）  $\Delta 21,592$  千円

- (2) 繰越明許費  $22,190,052$  千円  
 地方道路交付金事業、地方道路等整備事業、県単河川改良事業 等  
 ①追加分  $17,228,273$  千円  
 ②変更分  $4,961,779$  千円

- (3) 債務負担行為  $964,978$  千円

事業名	事業費	事業内容
あきた安全安心住まい推進事業	949,500	住宅の増改築・リフォームへの支援に要する経費
道路台帳管理事業	12,302	道路台帳の管理に要する経費
技術アドバイザー業務委託	3,176	技術アドバイザーからの技術的アドバイスを要する経費

## 2 特別会計

- (1) 補正予算  $\Delta 638,664$  千円

事業名	事業費	事業内容
能代港エネルギー基地建設用地整備事業	$\Delta 200$	決算見込みによる
下水道事業	$\Delta 620,773$	決算見込みによる
港湾整備事業	$\Delta 17,691$	決算見込みによる

- (2) 繰越明許費  $2,286,296$  千円  
 （能代港灰捨場管理事業、流域下水道事業 等）

- (3) 債務負担行為  $143,974$  千円

事業名	事業費	事業内容
流域下水道維持管理費 （指定管理分）	66,360	指定管理に係る下水道施設の維持管理に要する経費
流域下水道維持管理費	19,107	下水道施設の維持管理に要する経費
港湾荷役機械保守点検業務委託	58,507	港湾施設の維持管理に要する経費

# 流域下水道維持管理における指定管理料に係る 債務負担行為の設定について

平成28年2月19日  
下水道課

## 1 設定理由

流域下水道及び十和田湖公共下水道の維持管理業務は指定管理者に委託しているが、電気料金の値上げ等に伴い、平成28年度において債務負担行為限度額に不足が生じることから、不足分を新たに設定するものである。

## 2 設定内容

(1) 設定対象期間  
平成28年度

(2) 債務負担行為限度額の設定額

(単位：千円)

対象施設	設定内訳	H24～H28年度 合計
秋田湾・雄物川 流域下水道 (臨海処理区)	① 既債務負担行為限度額	4,565,513
	② 指定管理者との各年度当初契約額 (H28は予定額) 計	4,620,851
	③ 債務負担行為限度額 不足額 (②－①)	55,338
秋田湾・雄物川 流域下水道 (大曲及び 横手処理区)	④ 既債務負担行為限度額	1,850,667
	⑤ 指定管理者との各年度当初契約額 (H28は予定額) 計	1,860,785
	⑥ 債務負担行為限度額 不足額 (⑤－④)	10,118
米代川流域下水道 及び十和田湖公共 下水道	⑦ 既債務負担行為限度額	1,205,958
	⑧ 指定管理者との各年度当初契約額 (H28は予定額) 計	1,206,862
	⑨ 債務負担行為限度額 不足額 (⑧－⑦)	904
債務負担行為限度額 今回設定額 (③＋⑥＋⑨)		66,360

# 災害関連事業（斉内川）について

平成28年2月19日  
河川砂防課

## 1 補正予算案の概要

平成27年7月の梅雨前線豪雨により被災した斉内川について、12月に「河川災害関連事業」が国に採択されたことに伴い、予算を補正する。

## 2 補正額

(1) 当初予算額（平成27年度斉内川分）	58,157千円
(2) 必要額（同上）	272,736千円
(3) 補正額（2）－（1）	214,579千円

### 《参考》 斉内川における災害関連事業及び災害復旧事業

被災施設を原形復旧する「災害復旧事業」に加え、一連区間の改良を併せて行う「河川災害関連事業」を活用することにより、治水効果を高め、今後の出水による再度災害の防止を図る。

なお、発生年を含めて3カ年度以内に事業を完了させる予定である。

### ・実施予定額

（単位：千円）

	災害関連		災害復旧		合計	
		うちH27分		うちH27分		うちH27分
全 体	545,472	272,736	1,176,934	1,013,666	1,722,406	1,286,402
金鑑工区	91,152	45,576	243,265	206,775	334,417	252,351
斉内工区	454,320	227,160	845,184	718,406	1,299,504	945,566
真木1号工区	—	—	59,361	59,361	59,361	59,361
真木2号工区	—	—	29,124	29,124	29,124	29,124



# 空港維持管理費（除雪費）について

平成28年2月19日  
港湾空港課

航空機の安全で円滑な運航を確保するため実施している空港除雪業務について、これまでの執行状況と今後見込まれる所要額を考慮し、予算を補正する。

## 1 降雪状況

- (1) 昨年末までは暖かい日が続き、累積降雪量は平年より少なかったが、年明け以降は時折強い寒波による降雪が続いており、1月は昨年に近い降雪量となっている。
- (2) 仙台管区气象台では、今後は、平年並みの降雪量と予報している。

## 2 除雪費の見込み

- (1) 平成27年度当初予算では、空港維持管理費約9億4百万円のうち、除雪費として約1億7千万円を予定していた。
- (2) 今後の降雪量を平年並みとすると、今年度の除雪費は2億9千万円と推計され、約1億2千万円の不足が見込まれる。

## 3 補正額

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| (1) 空港維持管理費       | 903,916千円   |
| (2) 空港維持管理費見込み額   | 1,024,616千円 |
| (3) 補正額 (2) - (1) | 120,700千円   |



【雪戦隊なまはげ】

# あきた安全安心住まい推進事業（住宅リフォーム推進）に係る 債務負担行為の設定について

平成28年2月19日  
建築住宅課

## 1 住宅リフォーム推進事業の継続

既存住宅の居住環境の向上及び県内経済の下支えとして、住宅リフォーム推進事業を継続するとともに、子育てに要する経済的負担を軽減するため、多子世帯住宅や空き家購入後のリフォームに対する助成を拡充する。

また、補助金の受付事務を3月中に開始できるようにするため、債務負担行為を設定するものである。

### (1) 事業概要

タイプ	一般	子育て世帯	
	持家	持家	空き家購入後
対象者	県民	18歳以下の3人以上の子と同居している親子世帯	18歳以下の1人以上の子と同居している親子世帯
補助対象	増築・減築・改築・リフォーム・修繕（工事費50万円以上）		
補助額	補助対象額の10% （限度額15万円）	補助対象額の20% （限度額40万円）	補助対象額の30% （限度額60万円）
補助金 （戸数）	847,500千円 （7,500戸）	72,000千円 （180戸）	30,000千円 （50戸）

(2) 平成28年度当初予算額 969,740千円

[
 ・補助金計 949,500千円  
 ・臨時職員賃金ほか 20,240千円
 ]

(3) 債務負担行為設定額 949,500千円（補助金分）

《参考》 これまでの実績（H27：決算見込額、H28：当初予算額）

